

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3295 回例会 (令和 2 年 9 月 16 日・水)

今週のプログラム

9 月 16 日 (水) ゲストスピーチ

「松江城大解剖」

松江歴史館 主幹・学芸係長 ^{きのした まこと} 木下 誠氏

次週のプログラム

10 月 7 日 (水) ゲストスピーチ

「コロナ禍における職場環境とメンタルヘルス」

^{はる きゆうこ} 医師 春木 宥子氏

2020年9月～10月の予定

- ※ 9 月 23 日 (水) 休会
- ※ 9 月 30 日 (水) 休会
- 10 月 7 日 (水) 定例理事会
- 10 月 17 日 (土)～18 日 (日) 地区大会
- 18 日 (日) 本会議 岡山国際ホテル
10:00～17:00 (予定)
- 本会議 I 10:00～
- 昼食・休憩 12:00
- 本会議 II 12:50
- 記念講演 15:00
JAXAシニアフェロー 川口淳一郎氏
演題「はやぶさ式思考法」で令和の日本を拓く
- 休憩 16:20
- 本会議 III 16:35
- 閉会 17:00
- ※交通手段 松江4クラブ貸切バス(予定)

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
9月17日(木)	平 田	ホテルほり江
9月24日(木)	松 江 東	ホテル一畑
9月24日(木)	米 子 中 央	ANAクラウンプラザホテル
9月29日(火)	境 港	Asian Resort Dining 姍國
10月 8日(木)	平 田	ホテルほり江
10月12日(月)	出 雲 中 央	出雲ロイヤルホテル内事務局
10月13日(火)	出 雲	ホテル武志山荘
10月13日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
10月22日(木)	松 江 東	ホテル一畑
10月27日(火)	松江しんじ湖	すいてんかく
10月28日(水)	大 社	出雲商工会(大社町榊南1344)
10月29日(木)	米 子 中 央	ANAクラウンプラザホテル

〈例会場変更のお知らせ〉

10月7日(水)の例会よりサンシャインホールで開催致します。

第3294回例会記録

令和 2 年 9 月 9 日 (水・晴れ時々曇り)

会員数	64名	■ビジター	なし
出席者数	40名	■メーキャップ	沖本(松江南)、天野、井戸内、田中、永通、波多野(松江しんじ湖)
欠席者数	24名		
出席率	68.97% (出席免除会員含む)		
前々回補正	85.71%		

会 務 報 告

内田会長

- ゲストスピーカー紹介
松江歴史まちづくり部 次長 ^{いわた まこと} 稲田 信様
- 米山奨学生 ドーティーフエさん紹介
奨学金お渡し
- 退会会員のお知らせ
日本銀行 松江支店長 花尻哲郎会員 8月17日付をもって退会
(株)鴻池組 山陰支店長 井戸内義文会員は本

日をもって退会
井戸内義文会員 退会挨拶
お餞別お渡し

杉原幹事

- 本日、ロータリーの友8月号、9月号配付。
- 新入会員入会選挙についての文書をボックスにいられております。異議申し立てがありましたら9月15日までに幹事までお知らせください。なければ事後の手続きに入らせて頂きます。
- 新入会員歓迎会(予定)のお知らせ

委員会報告

- クラブ管理運営 親睦・出席委員会 木田会員
出席報告
- 広報委員会 亀山副委員長
ロータリーの友8月号、9月号の紹介

プログラム

「松江市史編纂完了と歴史まちづくりの考え方について」
松江歴史まちづくり部 次長 稲田 信氏



ニコニコ箱

16,000 円

内田、小林祥、乾（稲田信さんのスピーチに）
谷口博（稲田次長さんのスピーチに期待して。稲田さんのご尽力で先般弊社より「山陰名城叢書松江城」を発刊しました。）
井戸内（支店長交代により退会させていただきます。大変お世話になりました。後任の支店長も宜しく御指導願います。）
景山、木村（井戸内支店長 大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。）
福田（情報提供させていただきました。）
谷口正（本日、所用のため早退させていただきます。ご了承下さい。）
辻（娘の論文がThe NEW ENGLAND JOURNAL of MEDICINE に掲載されました。）
原（お花をありがとうございました。欠席続きで申し訳ありません。）
原田（出席100%賞）

ベストメッセージ賞：該当なし
司会 山本公司会場監督

ひとこと
随想

愛着あるモノとの別れ



木村 俊一郎

先日、12年近く愛用したデジタル一眼レフカメラ（以下デジカメ）が壊れました。メーカーの修理窓口にお問い合わせすると「製造終了後7年を過ぎた製品なので修理受付できない。」との回答。愛着あるデジカメだったので諦めきれず、修理をしてくれそうなお店をインターネットで探し、片っ端から問い合わせしてみました。結局は「修理に必要な電子部品（パーツ）の供給をメーカーが打ち切っているので修理出来ない。」ということでした。ある店主曰く、「デジカメもテレビやエアコンと同じ家電製品だから10年も使えたら御の字とってください。」

次から次へ新製品を市場に出すことを顧客から求められる一方、自社製品の全ての部品を何年にもわたり保管し続けるのは場所や管理を含め莫大なコストがかかるであろうことは想像に難しくありません。製品寿命をいたずらに長いものにすれば当然ながら製品価格の上昇につながりますし、顧客が製品を長く使えば使うほど新しいものは売れにくくなるのでメーカー側としては製品寿命をどのくらいとするのが適当なのかはとても判断が難しいのだと思います。

一方で、愛着を持って使ってきたデジカメがたった一つのパーツの欠品で置物同然になってしまったことを目の当たりにし、ユーザーとしては少し淋しい思いがしました。壊れたパーツ以外は何の問題もないのですが、....。



話は変わりますが、弊社の主力商品である注文住宅を構成する部品・部材には大量生産された既製品が多く使われています。大量生産された既製品は価格が安く品質も安定しているため、それを使う側としてはたくさんのメリットがあります。

反面、それらの既製品も頻繁なモデルチェンジや仕様変更がなされ、たった数年で廃番、その結果として壊れていない部分も含め丸ごと交換が必要となり、部分補修に比べるとはるかに大きな金銭的負担を顧客に強いることも珍しくありません。常により良いものを提供したいという作り手の思いはあっても、それを大切に長らく使ってもらおうという意識はあまり感じられないように思います。

新型コロナウイルスの世界的大流行によっていろいろな分野でパラダイムシフト（*1）が起きていると言われていています。住まいづくりに携わる者として、大量生産・大量消費が当たり前だったこれまでの価値観が大きく変わり、昔のように壊れても直しながら長く大切にモノを使うという考え方がまた注目されるようになるのかもしれないあと、動かなくなってしまったデジカメを眺めながら考えていました。（建築）

*1 パラダイムシフト：これまで当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが劇的に変化すること